

参考資料

各事業における活動指標の進捗状況

【柱1】

(1) 地域での支えあい、助けあい活動の促進

① 地域生活課題の解決に向けた住民参加の促進

番号	事業名	評価指標	内容								R6 目標値	担当部署 ※複数の担当が該当する場合は、青色セルの部署がご記入ください。	
			H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R5 実績値			
柱1(1)①ア	ふるさと運動事業 (ふるさと協議会等の支援)	ふるさと協議会の活性化、地域課題解決型の活動の取組を支援し、地域づくりに参画する新たな人材の発掘と育成を進め、市民参加型の地域づくりの実現を目指す。											市民生活支援課
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
柱1(1)①イ	町会等支援事業	町会等は豊かな市民生活の実現のため、市にとって大切なパートナーであることから、町会等への加入促進、町会活動の活性化を支援します。また、不動産(土地・建物)を保有する町会等の法人格取得支援・認可を行います。	町会加入率	68.80%	65.90%	64.17%	70.00%	62.74%	64.88%	62.47%	71.50%	市民生活支援課	
		新規転入者やアパート住まいの方から町会等活動への理解が得られないこともあり、目標値には達しなかった。今年度末に加入促進チラシの改定を行ったので、次年度の増加を期待したい。令和6年度においては引き続き、加入率増加のための方法を模索していく。											
柱1(1)①ウ	地区社会福祉協議会支援事業	各地区に担当職員を配置し、地区社会福祉協議会を中心とした地域支援を行います。また、地区社会福祉協議会連絡会の開催や活動助成金の交付などにより、地区社会福祉協議会活動の支援を行います。	地区担当職員の出向回数	1,474回	1,403回	944回	1,600回	1,103回	1,170回	1,268回	1,800回	柏市社会福祉協議会	
		地域活動が再開され地域の現状の把握に努めた。コロナにより地域活動の質や量に変化が生じたため地域とあらたな関係作りを務めながら、今後の活動について関係各所との連携を図った。											
柱1(1)①エ	地域づくり推進事業	地域担当の職員並びに、市民協働支援員、地域づくりコーディネーターを配置し、地域の課題解決の取組を支援します。また、そのための財政支援等の事業を展開していきます。地域団体と他の活動団体の連携促進のため、橋渡しの役割を果たします。	地域活動支援補助金相談件数	19件	29件	19件	25件	10件	8件	12件	25件	市民生活支援課	
		令和6年度の応募件数が少なかったため、追加の募集案内をする。次年度に応募件数増に向けて、申請方法の見直し、申請書式の修正、フローチャート等を新規に作成する。											
柱1(1)①オ	地域の支えあいの充実と体制整備	各地域に配置された「地域支えあい推進員(生活支援コーディネーター)」が「支えあい会議」を開催し、地域資源の開発や会議に参加する多様な関係者間の連携を図ります。市域では「地域支えあい推進協議会」を中心に、柏市の支えあい活動の支援体制や推進策等の評価見直しを行います。住民主体による生活支援サービスを実施する団体や、高齢者の社会参加や、介護予防等を促進するための地域の居場所を運営する団体に対する補助金を交付し、地域の支えあい活動を推進します。	たすけあい活動団体数	51団体	67団体	68団体	68団体	59団体	69団体	70団体	77団体	地域包括支援課	
		新型コロナウイルス感染症の影響により活動を休止していた団体は、全団体が活動を再開したが新しい団体の立ち上げにはいたらなかった。引き続き、地域や団体の状況に応じて補助金の交付等の支援を行っていく。											

② コーディネートの充実

番号	事業名	評価指標	内容								R6 目標値	担当部署 ※複数の担当が該当する場合は、青色セルの部署がご記入ください。
			H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R5 実績値		
柱1(1)②ア	地域いきいきセンター	福祉総合相談(子どもから高齢者まで分野を問わない初期相談窓口)や地域の支えあい推進に関すること、ボランティアコーディネーター、地域組織(ふる協等)との連携・活動支援、お元氣コール事業、その他地域ニーズに応じた事業等を行います。	設置箇所数	5箇所	6箇所	7箇所	8箇所	8箇所	9箇所	10箇所	11箇所	柏市社会福祉協議会
		市内10ヶ所目の新田原地域いきいきセンターを新たに開設、身近な福祉の相談窓口として、関係機関と連携した伴走支援や、地域状況に応じた地域づくりに取り組んだ。また令和6年度11ヶ所目の新規開設を目指し、準備を進めている。										
柱1(1)②イ	地域の支えあいの充実と体制整備	各地域に配置された「地域支えあい推進員(生活支援コーディネーター)」が「支えあい会議」を開催し、地域資源の開発や会議に参加する多様な関係者間の連携を図ります。	地域支えあい推進員の配置数	17地域	20地域	21地域	21地域	21地域	21地域	21地域	21地域	地域包括支援課
		支えあい会議等の活動を通じて、地域の実情の把握や情報共有を行った。ほとんどの地域にて会議の開催や活動が再開されている。支えあい会議以外でも、支えあい推進員、地域包括支援センターとの連携を通じて「地域元氣情報」など地域資源を発信している情報を更新していく。										
柱1(1)②ウ	さわやかサービス事業	たすけあいのマッチング、協力会員の養成、研修、車いすの方の移動サービスの提供を行います。	サービス提供件数	4,619件	4,196件	2,953件	4,500件	3,758件	4,088件	4,235件	4,400件	柏市社会福祉協議会
		コロナ禍からの回復とともに、サービス利用件数も徐々に増えてきている。協力会員の増加のために、新富地域で登録説明会を実施した。	相談件数	1,199件	4,549件	4,004件	1,300件	4,175件	4,292件	5,208件	1,500件	

③ 見守り活動の推進

番号	事業名	内容									R6 目標値	担当部署 ※複数の担当が該当する場合は、青色セルの部署がご記入ください。		
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R5 実績値				
柱1(1)③ア	民生委員・児童委員の活動支援	住民の身近な相談役、つなぎ役として地域で活動する民生委員・児童委員の活動を支援していきます。民生委員活動を周知し、欠員をできるだけなくすることで活動しやすい環境づくりに努めます。											97.50%	福祉政策課 柏市社会福祉協議会
		民生委員委嘱率	94.30%	91.90%	93.40%	96.00%	94.60%	90.92%	91.95%	推薦母体である町会等へ定期的な周知啓発を実施することを目的に、随時委嘱の回数を年3回とした。これにより、随時委嘱の推薦書提出について期限を設け、候補者の推薦について町会長へのアプローチがしやすくなった。ただ、依然として欠員数が相当程度あるため、担い手確保の取組について引き続き検討を進めていく。				
柱1(1)③イ	高齢者声かけ訪問事業	民生委員・児童委員が担当地区の高齢者宅を訪問することにより、福祉サービスや介護サービスが必要な状態にもかかわらず、閉じこもりや家庭事情などを含め、自らの力で利用申請ができない高齢者を把握し、適正なサービス利用につなげます。											増加	地域包括支援課
		地域包括支援センターにつながった件数	148件	289件	—	増加	—	384件	327件	・民生委員の改選があったため、各地域ごとに説明会を開催したうえで事業を行った。 ・引き続き、民生委員の意見を伺いながら、支援が必要な高齢者の把握に努める。				
柱1(1)③ウ	地域の支えあいの充実と体制整備	各地域に配置された「地域支えあい推進員（生活支援コーディネーター）」が「支えあい会議」を開催し、地域資源の開発や会議に参加する多様な関係者間の連携を図ります。「支えあい会議」を通して、地域における見守り体制づくりを支援します。											21地域	福祉政策課 柏市社会福祉協議会
		支えあい会議設置数	19地域	19地域	20地域	21地域	21地域	21地域	21地域	支えあい会議等の活動を通じて、地域の実情の把握や情報共有を行った。ほとんどの地域にて会議の開催や活動が再開されている。支えあい会議以外でも、支えあい推進員、地域包括支援センターとの連携を通して「地域元気情報」など地域資源を発信している情報を更新している。				
柱1(1)③エ	防災福祉K-Net事業	平常時から地域の方へ避難行動要支援者の情報を提供することで、災害発生時や災害の発生が予想される時に安否確認や避難支援を地域の方に協力していただく制度です。行政は避難行動要支援者をとりまとめ、地域の方に情報提供を行うとともに、平常時からの支援体制構築などの支援を行います。											増加	福祉政策課
		マッチング済み町会数	102町会	185町会	185町会	122町会	185町会	216町会	226町会	アンケート調査により支援体制の構築状況には向上が見られた。説明会の開催は見送ったが、K-Netの説明用動画を市ホームページに配信し、制度の周知に努めた。K-Net名簿登録者の登録内容が実情と合わなくなっているケースがあるとの指摘があった。既登録者についても、確認・変更申請によりデータをアップデートしていく必要がある。				
		名簿提供町会数	236町会	255町会	257町会	256町会	257町会	257町会	261町会					

④ 意識啓発・福祉教育の充実

番号	事業名	内容									R6 目標値	担当部署 ※複数の担当が該当する場合は、青色セルの部署がご記入ください。		
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R5 実績値				
柱1(1)④ア	福祉教育事業	地域や学校、企業などにおける体験学習の支援の他、「夏ボラのススメ」や「ふくしの種」の発行などを通して、子どもの頃からの福祉意識の醸成を行います。											600人	福祉政策課 柏市社会福祉協議会
		夏季ボランティア体験者数	595人	676人	132人	600人	360人	543人	753人	夏ボラ参加者に対し、夏ボラ期間終了後もボランティア情報を提供し、少数ではあるものの活動に繋げることができた。 車いすをテーマとしたふくしの種を2,500部発行し市内小中学校に配布した。当事者団体やボラ団体を招き講話や交流を通して我が事として捉える機会を増やした。				
柱1(1)④イ	男女共同参画促進のための啓発事業の実施	男女共同参画センターにおいて、関心の持たれやすいテーマを取り入れながら、講座の開催や情報発信を図ります。											増加	共生・交流推進センター
		センターでの講座開催回数	13回	15回	4回	増加	3回	3回	3回	新型コロナウイルス感染症対策で始まったオンライン参加を継続して開催した。令和5年度は女性活躍推進やババの育児参加、性の多様性をテーマに講座を行った。令和6年度は、女性活躍だけでなく、働くママが抱く罪悪感や、女性の視点での防災等をテーマにした講座を行い、仕事と生活の調和の推進や、人権や差別に対する尊重の意識づくり、ジェンダー平等や性の多様性への理解など、柏市男女共同参画推進計画に沿った様々な視点から講座を開催していく。				
柱1(1)④ウ	障害理解・啓発イベントの実施	関係団体と協働で障害者理解を促進するイベントを実施します。また、関係団体、事業者が行うイベントを積極的に紹介し、後援します。											25件	障害福祉課
		イベント実施回数	25件	11件	2件	25件	16件	16件	29件	・障害者活動センターに登録する団体と協働して障害理解イベントを実施（13件）。次年度以降も継続した取組が必要。 ・市民からの依頼に基づき、地域で障害理解啓発を行う出前講座を実施（2件）。引き続き依頼に基づいて対応していく。 ・イベントの後援を実施（14件）引き続き依頼に基づいて対応していく。				
柱1(1)④エ	消費者教育事業	柏市消費者教育推進連絡会（教育委員会と連携）及び柏市消費者行政推進協議会を開催します。柏市消費生活コーディネーター及び柏市消費生活サポーターが地域において行う活動の支援を行います。											150回	消費生活センター
		地域での消費者講座（講話）の開催回数	121回	160回	70回	100回	97回	152回	118回	新型コロナウイルス感染症による行動規制の緩和があり、活動が徐々に再開されたことにより、消費者講座の開催回数は一定回数確保されたものと考えられる。引き続き成年年齢引き下げに伴う若年層の消費者被害の未然防止対策の強化、高齢者への消費者被害未然防止対策の啓発チラシの配布、パネル展示、さらにはSNS等の活用も含めて啓発活動の実施などを検討していく。				

(2) 地域福祉活動団体への支援及び活動拠点の整備

① 地域福祉団体への支援

番号	事業名	内容										担当部署
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 目標値		
柱1(2)①ア	ふるさと運動事業(ふるさと協議会等の支援) 【再掲】 柱1(1)①ア	ふるさと協議会の活性化、地域課題解決型の活動の取組を支援し、地域づくりに参画する新たな人材の発掘と育成を進め、市民参加型の地域づくりの実現を目指します。										市民活動支援課
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
柱1(2)①イ	町会等支援事業 【再掲】 柱1(1)①イ	町会等は豊かな市民生活の実現のため、市にとって大切なパートナーであることから、町会等への加入促進、町会活動の活性化を支援します。また、不動産(土地・建物)を保有する町会等の法人格取得支援・認可を行います。										市民活動支援課
		町会加入率	68.80%	65.90%	64.17%	70.00%	62.74%	64.88%	62.47%	71.50%		
柱1(2)①ウ	地域づくり推進事業 【再掲】 柱1(1)①エ	地域担当の職員並びに、市民協働支援員、地域づくりコーディネーターを配置し、地域の課題解決の取組を支援します。また、そのための財政支援等の事業を展開していきます。地縁団体と他の活動団体の連携促進のため、橋渡しの役割を果たします。										市民活動支援課
		地域活動支援補助金相談件数	19件	29件	19件	25件	10件	8件	12件	25件		
柱1(2)①エ	地域いきいきセンター 【再掲】 柱1(1)②ア	福祉総合相談(子どもから高齢者まで分野を問わない初期相談窓口)や地域の支えあい推進に関すること、ボランティアコーディネート、地域組織(ふる協等)との連携・活動支援、お元気コール事業、その他地域ニーズに応じた事業等を行います。										柏市社会福祉協議会
		設置箇所数	5箇所	6箇所	7箇所	8箇所	8箇所	9箇所	10箇所	11箇所		
柱1(2)①オ	ボランティアセンター事業	ボランティア活動の相談やボランティアコーディネート、活動団体への助成金の交付やボランティア育成講座などにより、ボランティア活動の普及啓発や人材育成を行います。										柏市社会福祉協議会
		登録ボランティア数(個人ボランティア、ボランティアグループ会員)	3,795人	3,842人	3,312人	3,950人	3,255人	3,285人	3,065人	4,070人		
柱1(2)①カ	地区社会福祉協議会支援事業 【再掲】 柱1(1)①ア	各地区に担当職員を配置し、地区社会福祉協議会を中心とした地域支援を行います。また、地区社会福祉協議会連絡会の開催や活動助成金の交付などにより、地区社会福祉協議会活動の支援を行います。										柏市社会福祉協議会
		地区担当職員の出向回数	1,474回	1,403回	944回	1,600回	1,103回	1,170回	1,268回	1,800回		

② 地縁型組織や目的型組織同士の連携の促進

番号	事業名	内容										担当部署
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 目標値		
柱1(2)②ア	地域の支えあいの充実と体制整備	各地域に配置された「地域支えあい推進員(生活支援コーディネーター)」が「支えあい会議」を開催し、地域資源の開発や会議に参加する多様な関係者間の連携を図ります。										地域包括支援課
		支えあい会議設置数	19地域	19地域	20地域	21地域	21地域	21地域	21地域	21地域		
柱1(2)②イ	地域いきいきセンター 【再掲】 柱1(1)②ア 柱1(2)②エ	福祉総合相談(子どもから高齢者まで分野を問わない初期相談窓口)や地域の支えあい推進に関すること、ボランティアコーディネート、地域組織(ふる協等)との連携・活動支援、お元気コール事業、その他地域ニーズに応じた事業等を行います。										柏市社会福祉協議会
		設置箇所数	5箇所	6箇所	7箇所	8箇所	8箇所	9箇所	10箇所	11箇所		
柱1(2)②ウ	ボランティアセンター事業 【再掲】 柱1(2)①オ	ボランティア活動の相談やボランティアコーディネート、活動団体への助成金の交付やボランティア育成講座などにより、ボランティア活動の普及啓発や人材育成を行います。										柏市社会福祉協議会
		登録ボランティア数(個人ボランティア、ボランティアグループ会員)	3,795人	3,842人	3,312人	3,950人	3,255人	3,285人	3,065人	4,070人		

③ 活動・交流拠点の整備充実

番号	事業名	評価指標	内容								R6 目標値	担当部署 ※複数の担当が該当する場合は、青色セルの部署がご記入ください。	
			H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R5 実績値			
柱1(2)③ア	教育福祉会館リニューアルにあわせた拠点整備事業	教育福祉会館耐震改修工事に併せ、各分野別に実施していた福祉活動が、元気な高齢者と子育ての支援や障害者の社会参画支援等を推進するような時代に合った共生社会実現に向けた、つながりの拠点として整備を行います。									・R5取り組みの成果、課題 ・R6に向けた具体的施策や方向性 ・R5実績が△、×の場合は改善策		福祉政策課 高齢者支援課 障害福祉課 子育て支援課
		拠点整備実施	未実施	未実施	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	拠点整備実施済(令和3年度1月リニューアルオープン)地域活動の場の提供により、地域課題の解決につながる役割を担い、地域共生社会の実現を目指します。	実施済	柏市社会福祉協議会
柱1(2)③イ	地域いきいきセンター【再掲】 柱1(1)②ア 柱1(2)①エ 柱1(2)②イ	福祉総合相談(子どもから高齢者まで分野を問わない初期相談窓口)や地域の支えあい推進に関すること、ボランティアコーディネート、地域組織(ふる協等)との連携・活動支援、お元気コール事業、その他地域ニーズに応じた事業等を行います。											柏市社会福祉協議会
		設置箇所数	5箇所	6箇所	7箇所	8箇所	8箇所	9箇所	10箇所		市内10ヶ所目の新田原地いきいきセンターを新たに開設。身近な福祉の相談窓口として、関係機関と連携した伴走支援や、地域状況に応じた地域づくりに取り組んだ。また令和6年度11ヶ所目の新規開設を目指し、準備を進めている。	11箇所	
柱1(2)③ウ	はぐはぐひろば(地域子育て支援拠点)事業の整備運営	乳幼児の親子や妊娠している方を対象に、交流や育児相談・情報提供・育児講座を実施する地域子育て支援拠点事業(子ども・子育て支援法に基づく地域子ども・子育て支援事業の1つ)について、地域バランスを考慮しながら新規整備を行います。											子育て支援課
		利用者数	25,969人	33,832人	25,424人	33,000人	31,292人	31,246人	38,312人		5月の新型コロナウイルス5類移行に伴い、段階的に予約制から自由来館制へ移行。子育て中の親子の交流等の場として機能した。また、青少年センターの閉鎖に伴い、柏たなか駅前公園内に地域子育て支援施設設置し、「はぐはぐひろば若菜(現:柏たなか)」を継続。令和6年度は利用者ニーズに沿った育児講座の実施など、引き続き利用促進を図る。	45,000人	
柱1(2)③エ	近隣センター施設管理事業	貸出施設の機能維持、稼働率の向上並びに施設利用の快適性を向上させます。											市民活動支援課
		稼働率	43.60%	45.76%	38.74%	47.00%	39.47%	41.32%	42.00%		令和5年度は、令和4年度と比較すると回復傾向にあるが、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により稼働率が低下した状態が継続。また各施設の老朽化により、貸出施設の機能維持、稼働率の向上及び施設利用の快適性を向上させるため、修繕を行った。令和6年度に向け、予防保全的な修繕を進め、稼働率の向上を目指す。	50.00%	

(3) 地域福祉を担う人材の育成

① 多様な活動分野における人材の育成

番号	事業名	評価指標	内容								R6 目標値	担当部署 ※複数の担当が該当する場合は、青色セルの部署がご記入ください。	
			H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R5 実績値			
柱1(3)①ア	地域づくり推進事業【再掲】 柱1(1)①エ 柱1(2)①ウ	地域担当の職員並びに、市民協働支援員、地域づくりコーディネーターを配置し、地域の課題解決の取組を支援します。また、そのための財政支援等の事業を展開していきます。地域団体と他の活動団体の連携促進のため、橋渡しの役割を果たします。											市民活動支援課
		地域活動支援補助金相談件数	19件	29件	19件	25件	10件	8件	12件		令和6年度の応募件数が少なかったため、追加の募集案内をする。次年度の応募件数増に向けて、申請方法の見直し、申請書式の修正、フローチャート等を新規に作成する。	25件	
柱1(3)①イ	ボランティアセンター事業【再掲】 柱1(2)①オ 柱1(2)②ウ	ボランティア活動の相談やボランティアコーディネート、活動団体への助成金の交付やボランティア育成講座などにより、ボランティア活動の普及啓発や人材育成を行います。											柏市社会福祉協議会
		登録ボランティア数(個人、グループ会員)	3,795人	3,842人	3,312人	3,950人	3,255人	3,285人	3,065人		個人ボランティアで活動していない方を整理したため、昨年度より減少している。個人登録ボランティアの増を目指し、南社会福祉センターでの入門講座を実施予定する。併せてその機会でもファミサポ、さわやかサービス協力者の周知も行う。	4,070人	
柱1(3)①ウ	子育て支援者の育成とネットワークの拡大	柏市子ども・子育て支援事業計画(平成27年3月)に基づき、各種研修の実施等により子育て支援者・団体を育成するとともに、それらのネットワーク組織を立ち上げます。子どもの育ちや子育てに対する支援の必要性等に関する啓発行事(例:シンポジウム)を、子育て支援者・団体等の企画・運営により実施します。											子育て支援課
		子育て支援員(地域子育て支援拠点その他)認定者数	32人	32人	1人	20人	22人	19人	22人		子育て支援員研修について、利用者支援事業(基本型)と一時的研修事業の研修を行った。一時的研修事業については、受講者の利便性を考慮し、コロナ禍で導入したeラーニングと集合研修を組み合わせた研修を実施した。啓発事業については、新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、はぐはぐフォーラム2024はラコルタ柏を全館貸し切り、すべて対面式で子育て支援団体による様々なイベントを実施した。令和6年度は、より市民が主体となる手法を取り入れ、子育て支援者・団体等のつながりをより一層促進していく。		子育て支援者等を対象とした研修を実施
柱1(3)①エ	教育福祉会館リニューアルにあわせた拠点整備事業	教育福祉会館耐震改修工事に併せ、各分野別に実施していた福祉活動が、有機的に結びつく中間支援拠点として整備。人材を育成し、育成した人材が地域で活躍できるように取り組みます。											福祉政策課 高齢者支援課 障害福祉課 子育て支援課
		ボランティア育成講座参加者数	674人	未実施	341人	実施済	331人	380人	332人		・講座への参加者が全体的に減少した。 ・令和6年度は音訳ボランティア養成講座の開催年にあたるため増加が見込まれる。 ・新たなニーズに対応するボランティアの養成を行う。		次期計画策定時に再設定を検討

② ボランティア活動機会の提供

番号	事業名	評価指標	内容								R6 目標値	担当部署 ※複数の担当が該当する場合は、青色セルの部署がご記入ください。	
			H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R5 実績値			
柱1(3)②ア	ボランティアセンター事業【再掲】 柱1(2)①オ 柱1(2)②ウ 柱1(3)①イ	ボランティア活動の相談やボランティアコーディネート、活動団体への助成金の交付やボランティア育成講座などにより、ボランティア活動の普及啓発や人材育成を行います。											柏市社会福祉協議会
		登録ボランティア数(個人、グループ会員)	3,795人	3,842人	3,312人	3,950人	3,255人	3,285人	3,065人		個人ボランティアで活動していない方を整理したため、昨年度より減少している。個人登録ボランティアの増を目指し、南社会福祉センターでの入門講座を実施予定する。併せてその機会でもファミサポ、さわやかサービス協力者の周知も行う。	4,070人	
柱1(3)②イ	介護支援サポーター事業	65歳以上の高齢者の地域福祉活動を通じた社会参加及び地域貢献を奨励するとともに、高齢者自らのフレイル(介護)予防活動により、要介護状態になることを予防します。											地域包括支援課
		フレイル予防カードを利用して、フレイル予防に取り組む市民の数	1,400人	1,530人	2,557人	4,000人	15,096人	20,999人	24,166人		フレイル予防活動を行う市民の増加に対応するため、全近隣センターでのポイント付与端末の貸出を開始した。ポイントを付与しやすしい環境を整備することで、更なる参加希望者の増加を図った。啓発活動においても、市内大型ショッピングセンターでイベントを実施するなど、制度の周知に努めた。令和6年度は、引き続き事業を推進することに加え、本制度の業務委託が今年度末で契約満了を迎えるため、事業の見直しと次年度以降の事業について、利用者への周知啓発を図る。	10,000人	